

「地域de子育て応援キャンペーン こどもっと!」事業

子育て支援のネットワークを構築して
地域全体で子育てを楽しめる環境づくりを目指す

大分県で進行する少子化に歯止めをかけようと、大分合同新聞社を中心に実行委員会を設け、2007年より子育てを応援するキャンペーンを実施している。紙面やイベントを通じて子育ての楽しさを発信しながら、自治体や団体、企業を巻き込んで地域全体で子育てを応援する環境づくりを目指す。キャンペーンタイトル「こどもっと!」には、「子どもとふれあって! もっと遊んで! もっと~」との思いが込められている。

育児に関わる取り組みを取材して
最新の子育て情報を多方面から発信

少子化による人口の減少は、現代社会が直面する最も深刻な問題である。大分県では若い世代の人口流出も激

しく、こうした少子化に歯止めをかける一歩として、子育てしやすい環境づくりが必要であり、家族や地域、企業の理解と協力を深めるために本事業はスタートした。

基本的な事業展開として、新聞紙面で子育てに関する情報を多方面から発信するとともに、県内各地域の自治体と連携して毎年子育て応援イベント「こどもっと!ランド」を開催、そのほか食育をテーマにした親子イベントなどを実施している。スタートしてから7期目となるが、この活動には、子育ては地域社会の理解と協力のもとに行われるべきとのメッセージが込められてきた。

「キャンペーンの目的は、もっと子どもとふれあい、子育てを楽しんでもらうこと。そのためには地域全体で子育てをサポートするような環境づくりが必要です。その実現に向けて、イベントなどを通して地域の自治体、NPO、地域の子育てサークル、幼稚園、保育園と連携し、これまでややもするとバラバラに活動していた子育て支援のネットワークを再構築をしていきたいと考えています」。キャンペーンを推進する大分合同新聞社東京支社営業部長の後藤誠さんは事業のねらいをこう説明する。

紙面掲載は隔月朝刊1ページで展開。育児に関わる取り組みをしている人や団体を取材して、育児事情の今や育児アドバイスなどを伝えるほか、子どもの「寝相アート」を紹介したり「イクメン座談会」を催すなど、硬軟織り交ぜたテーマを取り上げている。記事づくりにおいては必ず心掛けてあることがあるという後藤さん。「テーマは何であれ、調べて終わりにしないで、必ず人と結び付けるようにしています。取材を通じて行政やNPO、ママさんサークルの方々と接点をつくり、それをイベントへとつなげていくためです。この事業において大切なのは、こうしたネットワークづくりなのです」と明かす。



約1800人の親子が集まった子育て体験イベント「こどもっと!ランド in くにさき」

自治体の子育て支援課と連携して地域の
子育て支援団体が一堂に会するイベントを開催

年に1回開催される「こどもっと!ランド」は、親子で1日遊びや学びを体験できるイベント。県内各地域の自治体の子育て支援課と連携して、県の中心部だけでなく大分中を巡回して行われている。大分県18市町村のうちこれまでに10地域を回っており、今年度は10月19日に国東市で「こどもっと!ランド in くにさき」が開催された。

イベント実施にあたっては、自治体をはじめ、NPO、子育てサークル、幼稚園、保育園などの地域の子育てリーダーとともに実行委員会を立ち上げ、2~3か月かけて準備をしていく。新聞社が媒介役となって図られるこの連携こそこの事業のねらいであり、今回のイベントには市内22の子育て支援団体が参加した。

会場となったアストくにさきには、実行委員による手作りのダンボール迷路や、巨大仁王さまの色塗り、パルーンアート、3B体操など多彩な遊びのコーナーが設けられ、市内外から訪れた約1800人の親子が楽しんだ。また学びのコーナーでは、地域と多世代の育児参画を推進する「イ

担当者より



大分県中に
子育て支援の輪を

こどもっと!実行委員会事務局
大分合同新聞社
東京支社営業部長
後藤誠さん

AJOSCの支援により、今年度の「こどもっと!ランド」はこれまでの事業規模を超えて開催することができました。特に村上誠氏を迎えて学びの場を拡充できたことは大きな喜びです。また、今期は花育をテーマにしたイベントも予定しています。大分県中に子育て支援の輪が広がるよう、今後も自治体や各団体と連携して活動を継続していきたいと思っています。

クジプロジェクト”リーダーの村上誠氏(NPO法人ファザリング・ジャパン理事)による講演会を開催。「今、期待されるおじいちゃん、おばあちゃんの孫育て」と題クイズも交えた内容で、参加者は楽しく孫育について学んだ。AJOSCの助成はイベント会場の確保や村上氏の招聘などに活用され、規模、内容ともに充実したイベントになったという。

イベントは終日家族の楽しそうな笑顔にあふれ、「継続の必要性を毎回感じています」と後藤さん。また、来場者だけでなく自治体をはじめ参加団体からの満足度も高いという。

「地域からは次年度は自分たちだけで継続して開催したいという声が届いていて、地域の子育てネットワーク構築のきっかけになっているという実感があります。今後もイベント開催を通じてネットワークとノウハウを地域にお渡ししていき、県内の全市町村を回り終わった先に、さらに地域同士が横のネットワークでつながっていったらこんなに素晴らしいことはないと思っています」

大分県では、大分市など一部の都市への人口や経済の集中により地域格差が広がっている。子育てしやすい環境の整備には、助け合い支え合う地域力の強化が不可欠だ。地域にとってイベント開催はそれに向けてのキックオフになっているに違いない。



「こどもっと!」子育てシリーズ掲載紙面(2014年10月31日付大分合同新聞朝刊より)